

久美浜学園保幼小中一貫教育だより

くみはまこういゅうかぶと山



久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園ホームページ：各学校園所の様子を掲載
「久美浜学園保幼小中一貫教育」で検索、スマホでも閲覧可能

久美浜学園事務局R7.3.21.No.13
(☎82-0079(久美浜中内))

1年間の保育、教育活動、ご協力ありがとうございました。

中学校は、一足先に14日に卒業証書授与式がありました。とてもよい式で、涙ぐむ生徒も保護者もたくさんありました。一貫教育が始まったとき小学校1年生だった子たちが中学校を卒業しました。1年間の保育、教育活動へのご協力、ありがとうございました。

第3回久美浜学園学校運営協議会2/27を開催しました。

年間3回の会議をお世話になりました。今回は、年間のまとめと一貫教育10年の節目を迎えるにあたっての意見を聞かせていただく会議となりました。少ない人数の6つの小グループで、ざっくばらんに気楽に話をさせていただきました。どのグループも45分間、話が途切れることなく活発な話し合いをされていました。録音したものを聞いてまとめましたが、聞き取れないこともあり不十分な記録になってはいますが、お許しください。

協議会長、学園代表校長のあいさつ

(協議会長) 小一貫教育になってから9年、来年度は10年の節目、成果や気付きを振り返っていただき、次の新たな10年を見直し展望する協議をしていただきたい。「学校と地域をつなげる役割」についての確認を。

(学園代表校長) 公立高校の定員割れにより入試の状況が変わってきている。「育てほしい子ども像」として学んでわかる喜びや仲間と協働する楽しさ、すばらしさを得られるような教育が求められる。少子化への対応も話題に。

久美浜学園取組評価を報告

(学園事務局長) 保幼小中にかかる事業展開が活性化した。地域学習にかかわる取組、地域と結びついた保育、教育実践が充実した1年だった。一貫教育10年の節目をむかえるにあたっての成果を報告。一人一台端末、クラウド環境の活用による変わりゆく授業、積極的に地域とかわり豊かな学習の展開等。

(地域コーディネーター) 学校支援ボランティアの支援状況は、延べ126日、350名。学習支援、環境整備、安全確保等お世話になった。やりがいや充実感を感じてもらえた。

1の1、1の2グループ協議

東京の中学生のスマホ所持率が93%と聞いた。中学校へ行ったら持たせた方がいいのか。便利ではあるが危ないもの。間バイトや詐欺とか身近にある。

協議会委員が充て職ばかりというのが気になる。もっと何でもない枠から入って来られるのもよい。委員になってみないと分からないことがある。希望でやりたいという人がいてもいい。

2の1、2の2グループ協議

自分の夢だが、3つの土曜遊び教室を一度一緒にやってみたい。学園の一貫教育は、進学のための学力偏重でないし、すばらしい取組をされていると思う。

どうい子どもを育てていくか、話ができる機会があることがとても大事。学校と家庭と地域と連携できるこの協議会を活用して各校園所で話し合いの機会を作ることも考えられる。

3の1、3の2グループ協議

子どもが悪いことをしたときはその場で言わないといけないそれはダメだと声をかけてやるのが地域の役割かなと思う。近所のおっちゃんに怒られたということは、見てもらっているという安心感になるのではないかな。

あいさつが少ないと感じる。子どもは親の背中を見て育つ。親がむすっとしていたら子どもも挨拶をしない。言葉使いやあいさつは「いろはのい」、親があいさつをしている姿をみせてほしい。

協議会長、学園代表校長のあいさつ

(学園副代表校長) 学校、保護者、地域が本年で話す機会がないと子どもが育つ環境をよりよくしていくことは難しい。今後も協議を。
(副協議会長) 子どもたちが楽しい会話をしながらふれ合える環境や取組を地域で創っていくことが重要。今日は、お互いに気楽に交流ができてよかったかなと思っている。

検索：久美浜中学校/久美浜学園保幼小中一貫教育/たより/協議会意見

詳しい協議の内容は、こちらのQRコードから



第3回久美浜学園学校運営協議会出席者名簿

第3回家庭学習がんばり週間まとめ2/19(水)~2/25(火)

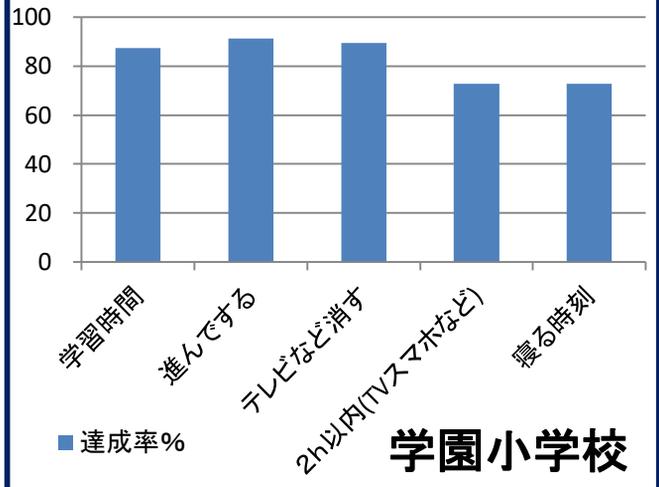
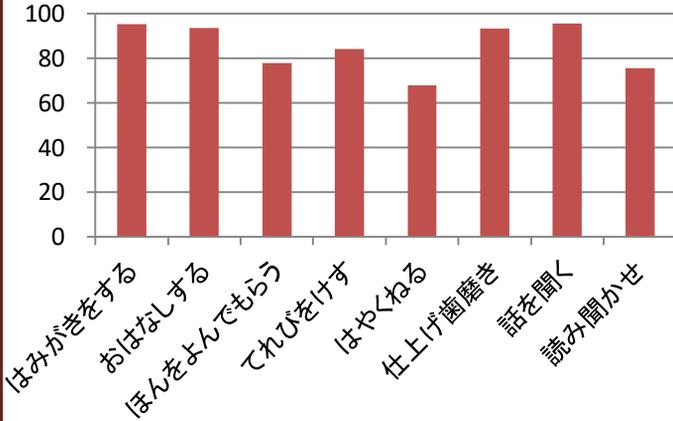
遅くなりましたが、まとめ冊子をホームページに掲載しました。QRコードから見てください。たくさんの感想を保護者の方にも書いていただきました。

9年前、一貫教育が始まった当初から、まず、小学校で点検表と時期を統一して取り組まれ、そのうち園所が話し合っ点検項目を考えられ一緒に取り組まれるようになりました。それから、学園PTA・保護者会の家庭教育委員会が、アピール文を出されるようになりました。

中学校の定期テストは、家庭でしっかり学習してテストに臨まないと、よい結果にはなりません。テスト前15~20日間ぐらい家庭での学習を目標を立てながら時間数等の点検をして取り組みます。家庭でしっかり学習する習慣を付けておかないと、中学生になってからでは遅いのです。

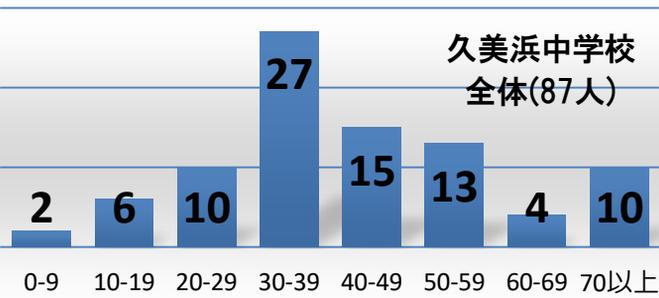
いつの頃からか、音声文字変換ソフトを使って、比較的簡単にコメントをまとめられるようになりました。毎回、600人をこえる点検表を読んでいます。最初は、なぜこんなことをするのかということも書かれていましたが、ここ数年は、家庭学習の大切さを理解し、頑張ろうとしておられるコメントがほとんどになりました。そんな雰囲気、学園の全家庭に作られたことは、この取組の大きな成果ではなかったかと思えます。

保育所園全体 ■達成…



園所のカード提出は141人。○の総数は、子ども5項目で4139個、保護者3項目で2616個でした。1年間ほぼ同じ高い水準で取り組んでもらっています。8割以上、本の読み聞かせをしていただいています。話を聞いてもらうこともですが、子どもの気持ちを安定させることにつながっています。その取組は、確実によい子を育てています。

小学校のカード提出は369人。○のついた数は、8707個です。1年間、このレベルを維持してもらっています。8割を超える達成率は、ずいぶん高いと思っています。7割の達成率でも、肯定的なムードをつくるには大切です。小学校の家庭学習は、スマホ、テレビ、ゲームとの戦いです。



中学校は1、2年生だけの取組となりました。取組期間も、期末テスト前20日間に増えました。1人当たり40時間をこえてきました。テスト前は、学習しなくてはいけない、すればするほどテストの点がよくなるということが、少しずつ分かってきているようで、かなりしっかり学習する生徒が増えてきました。中学校のカードは、時間数だけでなく、学習した内容も書きますので、ここをびっしり書いている子も多く、これは本物です。60時間をこえる生徒が、14人もいました。

まとめはこちらから

ペットボトルキャップの贈呈式、園所の5歳が中学校に来ました。3/4



みんなで記念写真



園所の5歳が歌を披露



園所の5歳の子がみんな来てくれました。中学生は1、2年生が、体育館で迎えました。園所の子たちが歌を披露してくれました。中学校からは、アルミ缶を集めたお金で買った絵本を送りました。メダルもプレゼントしました。